



川口の教育



【令和4年度学校保健及び学校安全表彰（文科大臣表彰）受賞による市長表敬訪問】

第645号

【目次】

- 教育随想① 「やりがいと感謝」 川口市立芝樋ノ爪小学校長 若林 茂 (2)
- 教育随想② 「人にめぐまれて」 川口市立鳩ヶ谷小学校長 岩田 直代 (2)
- 教育随想③ 「ありがとうございました。」 川口市立里小学校長 須山 恵美子 (3)
- 教育随想④ 「希う、規範意識の醸成を！」 川口市立鳩ヶ谷中学校長 瀧沢 靖雄 (3)
- 「令和4年度 川口市児童生徒の体格と新体力テストの調査結果」
川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 米倉 孝輔 (4) (5)
- 私の教育実践 「児童は教師と一緒に音楽が好きになる！～日々の授業の中で目指す大切なこと～」
川口市立飯仲小学校 教諭 山田 亮 (6)
- 教育ルポ (7) (8)

2 月号

—令和5年—

<教育随想①>

「 やりがいと感謝 」

川口市立芝樋ノ爪小学校長 若林 茂



長い教員生活でしたが、気がつくとき定年退職の年齢になっていました。これまで多くの方々に助けていただきながら教員を続けてまいりました。特に校長として勤務した10年間は、職員、PTA、地域の皆様などたくさんの方

の方々のご支援により重責を果たすことができました。

今振り返ってみますと校長としての役割を最も強く意識したのは、新型コロナウイルス感染拡大により全国一斉に臨時休校になったときです。コロナ禍が始まったとき、「ここが校長の出番、今やらずしていつやるのか」と、校長としての責任感を強く感じました。あれから今までに経験したことがないことの連続でした。新型コロナウイルスに関する様々な情報を収集し、先を見通して手立てを考え、子供たちのために優先すべきことは何かを考えながら学校経営にあたりました。緊張した日々が続きましたが、「すべては子供たちのよりよい成長のために、想像力を働かせて主体的に、1+1が3になる協力体制で学校運営を進める」という学校経営方針のもと、校長の考えを理解しチームワークよく勤務してくれる職員にも恵まれ、校長職のやりがいを感じました。

感染防止対策を最優先しながら学校経営を進める中で頭を悩ませたことは、今までやってきたことをそのまま続けるかどうかということです。学校行事などではその行事の目的を再確認し、内容や方法を変更したり、思い切って実施するのを止めたりしたことが幾度かありました。改めてその教育活動は何のために行うのかをしっかりと捉え直すことで、今までとは違った方法を取り入れることも自信をもって行うことができました。迷ったときには、「すべては子供たちのよりよい成長のために」を忘れず、ぶれずに学校経営を進めました。目的の大切さと、適切な目的を設定し教職員が共通理解をもって物事を進めることの大切さを実感しました。また、教員の働き方改革が進む中、コロナ禍後でも持続可能な学校教育の在り方を考えながら教育活動を見直しました。この3年間は、校長生活の中でも中身の濃い充実した3年間だったように思います。

結びに、この場をお借りして、これまでお世話になりました皆様へ感謝を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

<教育随想②>

「 人にめぐまれて 」

川口市立鳩ヶ谷小学校長 岩田 直代



定年を目前にこれまでの道のりを振り返ると、教職を志した高校時代から今に至るまで「人に恵まれた」人生であったと、しみじみ思います。学生時代は恩師や友人から多くを学び、教職に就いてからは、同僚や諸先輩方、

児童生徒からも多くを学びました。

まさに「我以外皆師」として、多くの人との出会いが私の成長の糧であり、原動力でした。還暦を迎えた今も、成長真っ盛りであると考える一方、初任の頃の赤面する思いの出来事から、赤面記録は更新され続けていることに、未だ我が未熟さを感じております。

江戸時代の浮世絵師である葛飾北斎は「70歳以前に描いたものは取るに足らぬものばかり、80歳を過ぎても猫一匹すら描けねえ」と、涙をながして嘆いたというエピソードもあることから、還暦を迎えた我が足跡は「取るに足らぬもの」であり、まだまだ精進が足りないと感じます。北斎が「このままでよいのか。現状に満足してはならない。」と生涯自身を鼓舞し続けたように、これから始まる新たな出会いとともに、今後も人として成長し続ける自分でありたいと願います。

現在コロナ禍の影響による社会の大きな変容や「VUCA時代」の到来により、先の見えない予測不可能な世界を生き抜く子供たちは、新しい物事や変化に適応し続ける能力が求められています。教育もSDGs実現に向けた教育へと転換し、ウェルビーイングなより良い人生や社会の実現に向かう未来が期待されます。しかし、どのような時代においても人は一人では生きられず、コミュニケーションは社会生活を営む上で必要不可欠です。よき出会いを大切に、目の前の子どもたちや家庭、地域との連携を図りながら、「だれ一人取り残さない」教育の実現に向けて、今後も微力ながら恩返しができればと思います。

結びに、川口市教育委員会をはじめ、出会った沢山の方々にこの場をお借りして心から感謝と御礼を申し上げます。今まで温かなご指導とご支援を頂き本当にありがとうございました。

皆様、そして子供たちにとって、学校が笑顔輝く場所であり続けることを、心から願っています。

<教育随想③>

「 ありがとうございます。 」

川口市立里小学校長 須山 恵美子



子どもの頃を振り返ると人前で話をするのが苦手で、授業参観などでは先生に指名されると緊張して何とか早く切り抜けて着席したいと思っていました。体育と家庭科と音楽の授業と給食が好きでその時間が一番生き生きしていた子どもだったと記憶しています。でも学校が大好きで先生や仲間と一緒にいるのが楽しくて、小学校6年間欠席しなかったことを褒めてもらえたことがうれしくて中学校も高等学校も休まずに学校に楽しく通うことができました。高等学校で文系か理系かを選択する際には小学校のときに苦手だった算数が、中学校2年生から面白くなってのめり込み、得意科目になったことから迷わずに理系を選択しました。いよいよ将来の職業にもかかわる大学を決める段階では、迷いました。けれども大好きな学校にかかわる仕事がしたいと教職に就くことに決めました。とは言え、大学受験は一度では合格できず、また教員採用試験もなかなか合格できませんでした。小学校5・6年生の担任の先生との出会いは私が教員になるきっかけでもあります。あきらめないことの大切さを教えてくださいました。あきらめず、くじけず、夢を叶えるために時間はかかってもチャレンジしました。ようやく夢の実現へのスタートに立てました。

小学校教員としてスタートし、指導主事、教頭、校長として仕事をさせていただく中で、多くの子どもたちや保護者地域の皆様、ご指導をいただきました諸先輩方、同僚と出会うことができました。自分が教員として、そして人として成長する中で人との出会い、できごととの出会いが大切ということを経験として実感しています。人前で話をするのが苦手だった私の作文を褒めてくれた先生がいらしたから、自分の書いたものに自信をもち、声に出して読めるように、そして語ることを少しは楽しめるようになったのです。校長として6年生の卒業アルバムには「勉強のこと、部活動のこと、友だちのことなど希望に胸いっぱいのごとでしょう。自分のペースをしっかりとつかみ、めあてに向かって精一杯やっていくことが大切です。小学校で培ったことを糧にして、焦らずあきらめずに、未来に向かって大きな、そして確実な一歩を踏み出してください。」とメッセージを送ります。少し先を歩く私からの言葉のプレゼントです。

今、節目を迎え、この言葉を自分でもかみしめて私も自分の第二章をしっかりと歩んでいきます。これまでお世話になりました皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

<教育随想④>

「 希う、規範意識の醸成を！ 」

川口市立鳩ヶ谷中学校長 瀧沢 靖雄



もう一度38年前に戻って、「どの職業に就きたいか。」と問われたら、迷うことなく答えるだろうと思います。「もちろん、中学校教師です！」と。天職などと気取るつもりはありませんが、これほどまでに気に入った仕事に恵まれたことは、至上の喜びであります。情熱の塊のような諸先輩方に恵まれ、私のように生意気で未熟な若き教師を温かい眼差しで見守ってくれる保護者に恵まれ、和気あいあいとした雰囲気の中でも切磋琢磨する同僚にも恵まれ、早や、卒業の 때가近づいております。中でも、生徒という存在は、ある時は夢の中で、ある時は記憶の彼方で、またある時は電話の向こう側で、またまたある時は実際に会うことのできる掛け替えのない「長きにわたって色褪せぬ宝物」であります。それは時を経た現在でも、そしてこの先の人生においても輝き続けるであろうと思います。これほどまでに有難い存在が、過去から現在にかけ、私の心を支えてくれています。本当に感謝の一言に尽きます。

一方で、38年の来し方を振り返ると、私を取り巻く環境は、追い風ばかりが吹いていたわけではありません。限られた紙面において1つだけ、「向かい風」と思しきところを挙げさせていただくのなら、次の事柄になります。

それは、保護者・地域・先生方の規範意識の変化であります。私が学級担任駆け出しのころなら「服装が心を正し、心が服装を整える」と指導すれば賞讃され、「靴を脱いだらきちんと揃える」指導は当たり前でした。ある時から、次のような発言を耳にするようになります。「何故、制服を着なければならぬのですか。法的根拠はあるのですか?」「靴を揃えると、何か御利益があるのですか?」誰がどんな場面で発言したかは想像にお任せします。一事が万事、「価値観の多様化」や「多様性の時代」といった時代の趨勢が生み出すものに、「規範」という大切なものが翻弄されているのを強く感じているは、私だけではないはずです。無論、多様化や多様性の承認は、教育の世界にあって重要なキーワードです。しかし、人間の規範は、社会秩序を保つ上で欠くべからざるものであるはずで

す。校長という立場になってから、11年間、生徒に話し続けた4つの言葉があります。「惻隱の心」「羞惡の心」「辞讓の心」「是非の心」(孟子:四端の教え) いずれも、人が生まれながらに持っている、清く明けく心根です。こうした規範の基となる心を、より一層、大切に育んでいただくことを、これからの世代の先生方に託し、卒業証書を頂くことにしたいと存じます。

本当にお世話になり、有難うございました。

令和4年度 川口市児童生徒の体格と新体力テストの調査結果

川口市教育局学校教育部指導課
指導主事 米倉 孝輔

1 体格調査の結果より

本市児童生徒の体格は、「令和4年度川口市児童生徒の体格の平均値（表1）」の通りである。

令和4年度は、身長、体重ともに多くの学年において、昨年度の全国平均値及び市平均値を上回った。

2 新体力テストの結果より

令和4年度、本市児童生徒の新体力テスト結果は、次ページ「新体力テスト平均値の調査結果（表2）」の通りである。結果、分析については以下の通りである。

(1) 小学校の結果（男女各48項目）

○R4市平均値と各平均値を比較しR4市平均値が上回るあるいは同数値の項目数

R3全国平均値	男子23項目・女子23項目
R4県平均値	男子23項目・女子18項目
R3市平均値	男子25項目・女子19項目

- 男女の「長座体前屈」において、多くの学年でR4県平均値やR3市平均値を上回った。
- 男女の「20mシャトルラン」や「50m走」において、多くの学年でR4県平均値やR3市平均値を下回った。

(2) 中学校の結果（男女各24項目）

○R4市平均値と各平均値を比較しR4市平均値が上回るあるいは同数値の項目数

R3全国平均値	男子10項目・女子10項目
R4県平均値	男子13項目・女子14項目
R3市平均値	男子11項目・女子7項目

- 男女の「長座体前屈」、「反復横とび」、「立ち幅とび」において、全学年でR4県平均値を上回った。
- 男女の「持久走」において、全学年でR4県平均値やR3全国平均値、R3市平均値を下回った。

(3) 総合評価（A+B+C）の割合

県目標値	小学校80.0%	中学校85.0%
R4市	小学校76.9%	中学校81.3%
R4県	小学校77.4%	中学校81.1%
R3市	小学校77.4%	中学校82.6%

(4) 考察と課題

令和4年度の本市の新体力テストの結果は、各項目の数値では、令和3年度を「下回った項目数」が「上回った項目数」よりもやや多く、総合評価A+B+Cの割合でも、令和3年度を下回った。

本年度の結果は、1学期に実施されたものであり、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大により、体育授業や部活動等の体育的活動が制限を余儀なくされたことが引き続き影響を及ぼしていると考えられる。

一方、昨年度から数値が向上した項目もあり、体力の低下にやや歯止めがかかっている様子も伺える。

なお、特に数値が低い種目は、小学校の20mシャトルラン、中学校の持久走であり、全身持久力の低下が市全体としての大きな課題である。

3 まとめ

本年度の本市児童生徒の体力は、全体的には昨年度に引き続き低下傾向ではあるが、向上へ向かっている種目もみられる。

各学校において、改めて体力の実態の正確な把握に努めていただきたい。同時に、県教委発行の「体力プロフィールシート」等を活用し、個人の目標を適切に設定し、一人ひとりが体力の伸びを実感できる指導を充実させていただきたい。

また、ICTの効果的な活用等により、合理的かつ効率的な活動を推進することで、授業における活動時間の確保に努め、本市の体力が向上に向かうよう取り組んでいただきたい。

なお、結果の詳細な分析は、後日、本市体力向上推進委員会より発行する冊子に掲載するため、是非参考にしていただきたい。

表1 令和4年度川口市児童生徒の体格の平均値

性別	項目	学校種別 年度	小学校						中学校		
			学年						1年	2年	3年
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
男子	身長 cm	R4	117.2	123.3	129.2	134.4	140.1	146.5	153.7	161.4	165.9
		R3国	○116.7	○122.6	○128.3	○133.8	○139.3	○145.9	○153.6	○160.6	○165.7
		R3市	○117.1	○123.2	○128.8	○134.3	○139.8	○146.0	154.0	○160.6	○165.8
	体重 kg	R4	22.0	25.1	28.6	32.2	35.9	40.8	45.8	51.1	54.9
		R3国	○21.7	○24.5	○27.7	○31.3	○35.1	○39.6	○45.2	○50.0	○54.7
		R3市	22.0	○24.9	○28.4	○31.8	○35.8	○39.8	○45.6	○50.3	54.9
女子	身長 cm	R4	116.3	122.2	128.4	134.8	141.6	148.1	152.5	155.3	156.8
		R3国	○115.8	○121.8	○127.6	○134.1	○140.9	○147.3	○152.1	○155.0	○156.5
		R3市	117.5	○122.1	○128.2	○134.5	○141.4	○147.5	152.5	○155.2	○156.7
	体重 kg	R4	21.5	24.3	27.7	31.3	35.8	40.7	44.6	47.9	50.1
		R3国	○21.2	○23.9	○27.0	○30.6	○35.0	○39.8	○44.4	○47.6	○50.0
		R3市	○21.4	○24.2	○27.3	○31.1	○35.3	○40.1	44.7	47.9	50.3

○ 比較した際にR4市平均値が上回った項目

集計 教育局学校教育部学校保健課

児童は教師と一緒に音楽が好きになる！

～日々の授業の中で目指す大切なこと～

川口市立飯仲小学校 教諭 山田 亮



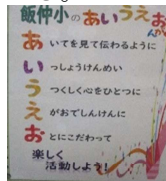
1.はじめに

学習規律は、自主的な学習活動を進める上での根幹に当たる部分である。あれもこれもやってみようとなると、児童にも混乱が生じ、結果、定着しないままとなってしまう。そこで、本校音楽専科として児童に伝え続けている学習規律、日々の授業実践を紹介したい。

2.学習規律の確立

音楽の授業は、「聴く」という心と態度を育むために欠かせない場であるという考えから、
・音を「聴く」⇒耳を澄ませ心と音を向き合わせる。
・話を「聴く」⇒教師の指示や発問、説明、他の児童の発言や意見に耳を傾けさせる。教師は児童のつぶやきを聴き逃さない。
・目で「聴く」⇒演奏者や指揮者の表情、動作などから思いを感じ取らせる。

以上この3つの「聴く」を柱とし指導をしている。また、ハンドサインや決められたメロディを使い、音での挨拶や指示をすること、場に応じた声量（特にP(ピアノ)の大切さ)を学ばせている。そして、音楽室はいつでも楽器に触れ、練習ができる場とし、正しい扱い方等が学べるよう工夫を凝らしている。楽器演奏の取り組みでは、児童が「楽しい！吹きたい！」と思えるような学習計画を立てることで、忘れ物をさせないよう、日々努めている。



3.1時間の学習の流れで意識していること(実践例)

(1)導入

本時の内容に則した常時活動

- ・訓練的で無機質な練習は行わないようにする。
- ・「今月の歌」は目標に迫る内容に有効な時だけにし、(発声・発音などを含めた歌唱時)活動に十分な時間を取るようにする。
- ・常時活動のリズム打ちは、意図的に本時の曲のリズムを入れて繋がりをもたせ、強弱なども入れると面白い。

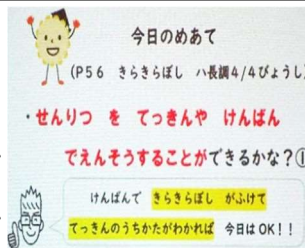


4年「とんび」の学習前の常時活動。題材中のリズムを意図的に使用する。ここで強弱の意味なども確認しながら楽しく！！

(2)展開

学習目標をわかりやすく具体的に示し、ゴールを明確にする

ねらいを明確にし、授業を通し何ができるようになったのか、児童が自然と説明できる工夫をする。技能面は視点を明確にし、曲の特徴を感受できるように可能な限り教師の範唱、範奏を通して説明する。



楽しい活動の中に目標に迫る学習場面をつくる

新しい曲との出会いはより丁寧に行っている。挿絵や楽譜から読み取れることを範唱や範奏を聴く前に行う。特に拍の意識は重視し、拍子を楽譜から最初に見つけることを徹底している。挿絵や歌詞に注目することは、「感じたこと」につながるヒントが自然と含まれていることが多い。後の活動で「聴き取ったこと」と関連付けることで、より曲想との関わりが明確になる。



2年「あのね、のねずみは」では児童らが挿絵から動物の性格を予想した。歌詞とは違った性格もあり面白い。

1時間の変容が実感できる工夫をする

繰り返し演奏する過程で、児童自身の表現や考えを広げるために、対話や交流を通して学習を深める。更に変容が実感できるように、録音及び比較聴取を繰り返し、聴く態度も育てていく。



録音をすることで客観的に自身の演奏を捉え、課題に正対した振り返りを言葉で伝えられるように成長。RolandのCD2uは簡単にすぐに録音できる。CDのテンポコントロールや多重録音ができ大変便利！

旋律や歌詞の内容、楽譜を通して曲想を捉える

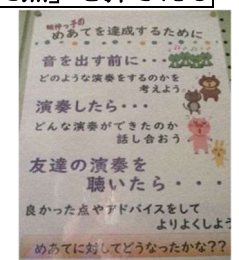
楽譜上の記号、フレーズなどは教え込むのではなく、教師が歌ったり演奏したり音を出すことにより感じ取らせ指導する。例として3年「ふじ山」では、旋律の動きを辿りながら歌い、音の高低と曲の山や強弱の関係を学習した。プロジェクターのライトを伏せることで、音楽の構造を可視化することができ、更に理解を深めた。



(3)終末

グループ等の発表は「工夫した点」を押さえる

工夫した点=聴くポイントである。児童には、ここに気を付けて聴き取らせるとともに良い点や改善点を具体的に発表させる。また「こういう時にはこういう言葉を使うよ」など語彙を増やすための工夫や指導等も行っている。



4.終わりに

私はいつも心がけていることがある。それは一人ひとりに目をかけ、声をかけ、手をかけること。そして笑顔であること。音楽の授業を通して、豊かな感性と優しい心をもつ児童の育成を図るため、これからも自己研鑽に努めていく所存である。

【令和4年度学校給食メニューコンクール（南平学校給食センター配送校）】

生徒に学校給食の1食分の献立を作成してもらい、その中から給食センターの栄養士が取り入れる献立を選考しています。優秀献立は表彰し、最優秀献立は実際に本市の学校給食として提供されます。

〈最優秀献立〉

川口市立元郷中学校（1年） 石田 楓斗

○献立テーマ 「心と体もぼかぼかメニュー」

ごはん・牛乳・とん汁・鶏肉のポン酢ソースがけ・
ほうれんそうのごま和え

○おすすめポイント

とん汁で体を温め、ほうれんそうのごま和えで鉄分補給できるようにしました。鶏肉のポン酢ソースがけは、こんにやくとしめじでボリュームアップしました。



〈最優秀献立〉

川口市立東中学校（1年） 高橋 亜月

○献立テーマ 「旬の素材で心も体もポッカポカ」

ごはん・牛乳・小松菜と油揚げのみそ汁
白菜と肉だんごのあんかけ・大学いも・みかんゼリー

○おすすめポイント

体がより温まるように主菜をあんかけにしました。



市優秀教職員表彰式 令和5年1月20日(金) 於：リリア 音楽ホール



◇令和4年度 川口市優秀教職員◇

中 堅 の 部

氏 名	職 名	学 校 名	推薦の概要
小林 和陽	教 諭	芝西中学校陽春分校	教科指導 (国語・道徳)
田坂 美和	養護教諭	芝樋ノ爪小学校	保健室経営・健康教育
佐藤 美由貴	教 諭	芝南小学校	教科指導 (全般)
小沢 篤	事務主査	前川小学校	学校事務・情報教育
入江 直人	教 諭	鳩ヶ谷小学校	教科指導 (全般)